

南中学校と早野中学校の学校再編について

令和5年4月

茂原市教育委員会では、茂原市小中学校の再編に関する基本的な考え方を示した茂原市学校再編基本計画(平成29年3月策定)に基づき、学校再編を進めています。南中学校と早野中学校の学校再編については、学識経験者や自治会、教育関係者等で構成される「茂原市学校再編審議会」において、様々な見地から審議をしていただくとともに、保護者や住民との話し合いを重ね、令和4年1月に「茂原市学校再編第二次実施計画」を策定しました。本計画において、南中学校と早野中学校の統合時期を令和8年4月1日と定め、その後も地域での話し合いや説明会を開催しています。

1 経過及び今後の予定

令和4年9月に、南中学校、早野中学校及び進学先が変更となる五郷小学校のPTA役員、教職員並びに五郷地区及び鶴枝地区の自治会長連合会役員の代表者と「五郷地区学校再編に関する話し合い」を行ったところ、統合についてさらに保護者や地域に周知してほしいとのご意見をいただいたため、令和5年1月、2月に五郷小学校と南中学校で説明会を開催しました。

今後は、各学校・地域の代表者とさらに協議を進めてまいりたいので、各団体から代表者2名を選出していただきたいと考えております。

2 南中学校と早野中学校の学校再編に関する説明会の概要

会場	日時	参加者
五郷小学校	令和5年1月28日(土曜日)10時から	49人
南中学校	令和5年2月3日(金曜日)19時から	23人

<主なご質問・ご意見>

- 統廃合は致し方ないことだと思っているので、早めに情報を提供してほしい。
- 南中学校の土砂災害に係る安全対策の検討状況や通学路の整備計画を知りたい。
- 今後、子供たちがしっかりした教育環境の中で学校生活を送ってほしいと願っている。令和8年4月にきちんと南中学校に入学できるように、市、学校、保護者、住民がスクラムを組んで進めていただきたい。

※「南中学校と早野中学校の学校再編に関する説明会」の会議概要や配布資料は、教育総務課ウェブページで公開しています。



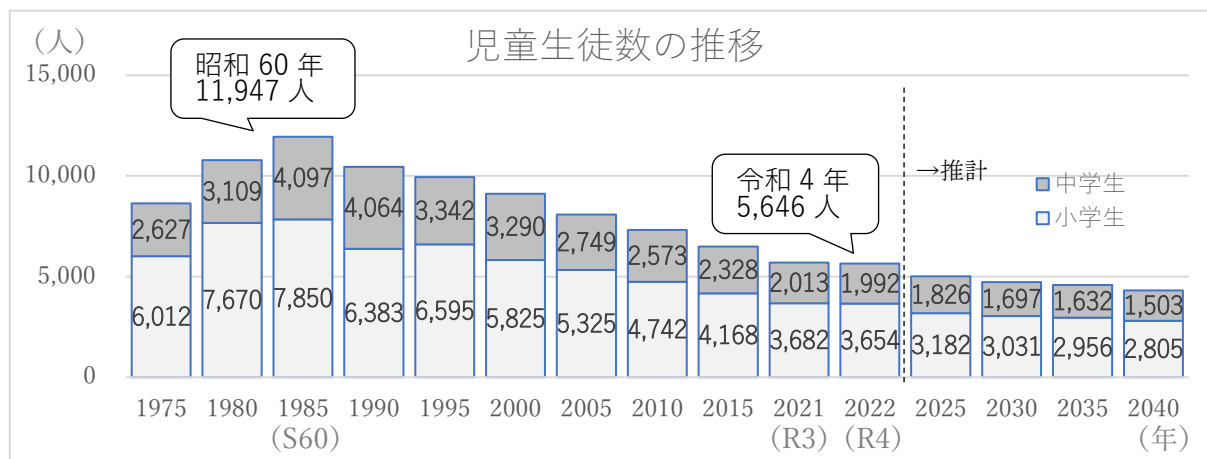
お問い合わせ	茂原市教育委員会 教育総務課 学校再編推進室
	電話：0475-20-1557 FAX：0475-20-1607

南中学校と早野中学校の学校再編に関する説明資料

1 茂原市の学校再編

(1) 児童生徒数の推移

令和4年5月1日現在の茂原市内の児童生徒数は、5,646人です。これは、昭和60年頃の約半数となり、市内の小中学校では小規模化が進んでいます。



※2025年以降は「茂原市人口ビジョン」で各種施策を実施する前の数値（基礎数値）より推計
※茂原市学校再編第二次実施計画（令和4（2022）年1月策定）より抜粋（2022年の値を追記）

(2) 茂原市立小中学校の適正規模

茂原市教育委員会では、学校教育法施行規則を基に、平成27年3月の教育委員会会議で本市における小中学校の適正規模を「小学校は12～18学級、中学校は9～18学級」と決めました（ただし、特別支援学級の学級数は除く）。

- 小中学校ともにすべての学年においてクラス替えを可能とする。
- 学習活動の特質に応じて学級を超えた集団の編制ができる。
- 同学年に複数教員を配置できるようにする。
- 中学校では、教員の免許外指導をなくし、すべての授業で教科担任による学習指導を行うことができる。

(3) 学校再編に関する方針及び進捗状況

茂原市学校再編基本計画では、学校再編の基本方針として、適正規模の維持、再編後の教育施設等の充実、通学手段・安全性の確保や、学校規模ごとの基本的な方向性として、全体の学級数に応じた進め方を決めました。また、本計画に基づき、具体的に学校再編を進めるため、平成30年3月に茂原市学校再編第一次実施計画（計画期間：平成29年度から令和2年度まで）を策定し、これに基づき、令和2年4月1日に西陵中学校と富士見中学校が統合、令和3年4月1日に二宮小学校と緑ヶ丘小学校が統合しました。

2 茂原市学校再編第二次実施計画

(1) 計画の概要

第二次実施計画（計画期間：令和3年度から令和7年度まで）は、再編の内容として、本納小学校と新治小学校の統合、本納小学校と豊岡小学校の統合、南中学校と早野中学

校の統合を定めています。なお、令和5年4月1日に本納小学校と新治小学校が統合し、新たな本納小学校として学校生活が始まりました。

(2) 南中学校と早野中学校の統合（第二次実施計画より）

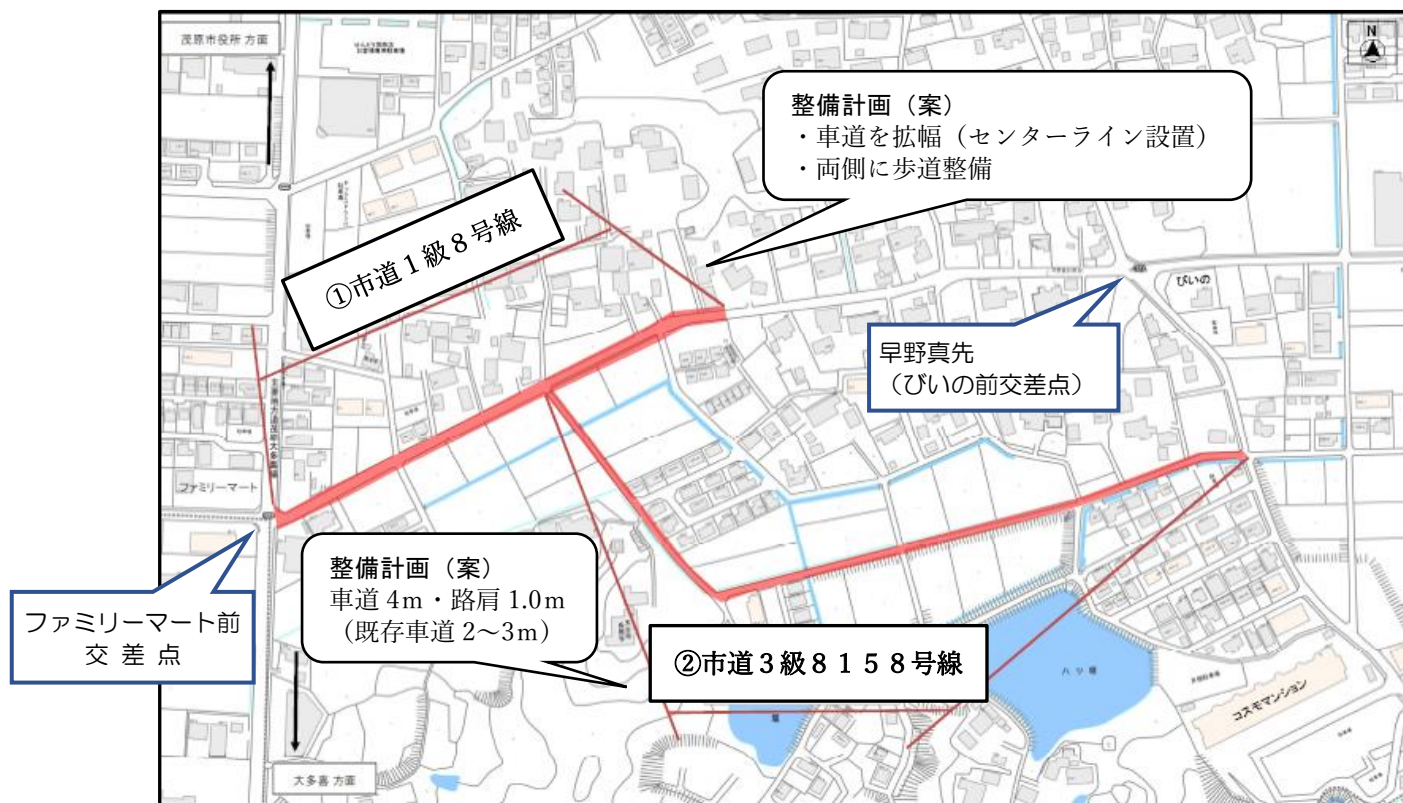
統合時期	令和8年4月1日	使用校舎	南中学校
通学区域	現行の両中学校区を合わせた区域		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害に係る安全対策の検討 ・通学路の整備 ・早期統合の検討 ・統合に関する準備委員会の設置、協議 など 		

早野中学校は、適正規模を満たしていません。今後も生徒数が減少し、将来全学年が単学級になることが見込まれます。また、五郷小学校と1小1中の関係にあり、生徒数の減少が見込まれる中、友人関係が固定化するなどの課題や部活動の状況に鑑みても早期の解消が望ましいため、令和8年4月1日に南中学校と統合するものとします。校舎については、南中学校を使用します。また、通学路の整備や土砂災害警戒区域等の指定に伴う安全対策を実施する必要があります。

内容	第二次実施計画				次期計画
	年度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
統合準備委員会の設置・協議				→	
通学路の整備	→	→	→	→	
交流事業の実施		→	→	→	
統合の実施					●→

3 通学道路の整備計画（案）

令和4～5年度で用地買収を行い、令和6～7年度での整備工事を目指す計画です。



4 南中学校の土砂災害対策における計画（案）

年 度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
事業予定	測量調査 (完了)	対応策の検討 及び設計	対策工事の実施	

【土砂災害警戒区域等の指定状況】



5 早野中学校の状況

(1) 今後の生徒数（見込み）

内容 \ 年度	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
全校生徒数（人）	135	141	130	130	105	104
学級数 (特別支援学級は除く)	6	6	6	5	4	4

※令和4年5月1日時点の早野中学校及び五郷小学校の在校児童・生徒数より算出

※学級は中学1年次のみ35人編制、2～3年次は38人編制（県の基準）

※見込みの数のため、令和5年度実数値とは異なる。

(2) その他

- 音楽科・技術科は教科担当者が授業日のみ勤務して、授業を受け持っています。そのため、生徒が合唱コンクールや学校行事等で専門的な指導を受けたいときに勤務していないことがあります。
- 職員数が少ないため教科ごとの研修会が成立せず、指導技術の相互伝達が難しくなっています。
- 令和4年度においては、早野中学校では7つの部活動、南中学校では13の部活動が活動しています。また、早野中学校の一部の部活動は部員数が少ないため、他校との合同チームで大会に出場しています。